

ドロップ・サイト・デイリー、5月28日：イスラエルの空爆により、イード・アル＝アドハの日にガザで16人が死亡；トランプ氏がオマーンを「吹き飛ばす」と脅す；米司法省、E・ジーン・キャロル氏に対する偽証罪の捜査を開始

脇浜義明訳 *脚注は訳注

イランと停戦

***ペルシャ湾で米軍攻撃再開**：米中央軍によると、米商船に対する攻撃未遂事件があったとして、5月27日夜、米軍はバンドル・アッバス付近のイラン軍事施設を攻撃し、一方通行型攻撃用ドローン5機を撃墜した。ロイター通信が引用した米高官は、この攻撃は「純粹防衛的なもので、停戦維持を目的としたもの」と言った。イランのタスニム通信によると、米国のタンカーがレーダーシステムをオフにしてホルムズ海峡を通過するので、イラン革命防衛隊（IRGC）海軍がそれを阻止しようとしたときに、米軍の攻撃があった。IRGCがタンカーに発砲してタンカーを引き返させたので、米軍がバンドル・アッバスを攻撃したという。タスニム通信は、タンカー阻止でもバンドル・アッバス攻撃でも死傷者は出ていないと報じている。米軍が「防衛的」と名付けた攻撃はこれで2度目である。1度目は、5月25日に、米軍がバンドル・アッバス付近のイランの小型ボート数隻を爆撃した。

***イラン、地域の米空軍基地を攻撃**：IRGCは28日、米国の攻撃に対する報復として米空軍基地を攻撃したと発表した。イラン国営放送（IRIB）によると、IRGCは「今朝、米軍が侵攻し、空中発射体を用いてバンドル・アッバス空港付近を攻撃したことに對し、午前4時50分に、攻撃の起点となった米空軍基地を攻撃した」と述べ、「いかなる攻撃も見過ごされない。より断固として対応を取ると付言したと、イラン国営放送が伝えた。IRGC発表は、28日早朝にクウェート全土で空襲警報が鳴り、クウェート軍が「敵対的ミサイルとドローン攻撃がある」という声明を出したというアル・アラビーヤの報道の直後に行われた。

***トランプ大統領、戦争について語る**：トランプ大統領は、28日の閣議の後、記者会見でイランに関するいくつかの質問を受けた。

・オマーンを「爆撃する」と脅迫：ホルムズ海峡を「イランとオマーンが管理するという短期的取り決め」を受け入れるのかどうかを質問されたとき、大統領は、「誰も」海峡を管理しない、米国は海峡を「監視する」と言った後、「オマーンは他の国と同じように行動するだろう。そうしないと、我々はオマーンを爆破しなければならない」とオマーンを脅迫した。

・イスラム諸国の「アブラハム合意」への参加を強制：トランプ大統領は、イラン戦争終結合意の条件としてまたもや複数のイスラム諸国（サウジアラビア、カタール、パキスタン、トルコ、エジプト、ヨルダン、バーレーンなど）がイスラエルとの関係正常化するアブラハム合意に「直ちに」参加することを主張した。「彼らは我々に恩義がある」と主張し、スティーヴン・ウィトコフとジャレッド・クシュナーが「そのことに取り組んでいる」と付言した。

・イランの濃縮ウランの移転と制裁緩和を否定：ロシアや中国がイランの濃縮ウランを受け取る案には賛成しない、「私はノーだ」と述べた。また、イラン制裁緩和を否定し、「制裁緩和や資金援助（イランの資産凍結解除）についてはまったく話し合っていない」と述べた。

・イラン戦争の中間選挙への影響否定：これらの選挙、及び戦争に対する国民の不満に対応する可能性は、イランとの交渉に「何の影響も与えない」と言った。「私は中間選挙なんか気にしていない」と述べた。

***イラン・メディアが報道した合意を「捏造」と断定**：27日、イラン・メディアがホルムズ海峡の商業航行再開とイラン周辺からの米軍撤退などの合意詳細を報じたが、ホワイトハウスは「事実無根」「完全な捏造」と否定した。

***今週、4隻のタンカーがホルムズ海峡を出た**：モニター機関SEGとKplerの最新海運データによると、今週4隻のタンカーがホルムズ海峡を出た。全体として、海峡通過する石油とLNGの輸送量は、イラン戦争前の1日125~140隻に比較して依然として少なく、数百隻の船舶がペルシャ湾に停泊したまま、約2万人の船員が足止めされている。

***分析家、イラン戦争で米軍の主要兵器の備蓄が枯渇したため、米軍は数年にわたり脆弱な状況に可能性を指摘**：戦略国際問題研究所（CSIS）がAP通信に提供した報告書によると、イラン攻撃でトマホーク巡航ミサイル、パトリオット迎撃ミサイル、THAAD迎撃ミサイルなどを大量使用して備蓄が大幅に減少したため、その補充に少なくとも3年を要す

る。米国は1000発以上のトマホーク・ミサイルを発射したので、在庫を回復するためには2030年後半までかかると言われている。パトリオット迎撃ミサイルとTHAADの補充には2029年半ばから後半までかかると言われている。

レバノン

*イスラエルのレバノン攻撃は28日も続行

・南レバノン攻撃で少なくとも14人死亡：レバノン国営通信社（NNA）によれば、28日、シドン近郊アドルーンで車両が攻撃され、子ども2人を含む少なくとも6人が死亡した。レバノン保健省によると、今日早朝、シドンの建物も攻撃され、女性2人を含む5人が死亡し、21人が負傷した。ナバティエでも攻撃があり、レバノン軍のXへの投稿文では、レバノン兵1人が死亡した。

・ベイルート郊外への攻撃：アル・ジャジーラは28日朝、ベイルート郊外のシュエイファトで大きな爆発音が聞こえたと報じ、後にそれをイスラエル軍のよる「精密攻撃」だと報じた。アル・ジャジーラのゼイナ・ホドル記者は、これを標的を絞った暗殺攻撃と同じだと言った。

・24時間で135回以上の空爆：イスラエル軍は、過去24時間でレバノン内の135箇所の標的を攻撃したと発表した。標的はスール（ティルス）市や南レバノン、ベッカー渓谷東部などである。

・イスラエル兵1人死亡、2人負傷：イスラエル軍は28日、ヒズボラのイスラエル北部へのドローン攻撃で、兵士1人が死亡、予備役兵2人が負傷したと発表した。ヒズボラは南レバノンとイスラエル北部のイスラエル軍にドローンとロケットで攻撃したと主張した。

*イスラム教祝日、ラマダーン月の終わりを祝う大祭イード・アル＝アドハ¹初日に、イスラエル軍レバノン空爆：地元報道によると、イスラエル軍はティルス市に強制退去命令を出し、27日に同市を空爆した。レバノン保健省によると、27日午後、ティルス市アル・バス地区への空爆で3人が死亡、子ども8人と女性13人を含む37人が負傷した。ティルス市内のインフラも標的にされ、重要な工業地帯が最初の攻撃目標となった。ハラ・ジャベル記者によると、現地時間午前0時過ぎ、市内の発電所が次々と空爆された。さらに、ブス難民キャンプ近くの建物も空爆され、2人が負傷した。

*イスラエル軍、シドン攻撃、6人死亡：NNA通信によると、27日夜、イスラエル軍がシドンで車両を攻撃し、父親、母親、子ども2人を含む6人が死亡した。

パレスチナ

*死傷者数：過去24時間で、ガザ回廊でパレスチナ人16人が死亡し、39人が負傷した。これで2023年10月7日以降の死傷者累計は、死者72,819人、負傷者172,894人となった。パレスチナ保健省によると、いわゆる「停戦」初日の10月11日以降、イスラエルはガザ回廊で少なくとも922人のパレスチナ人を殺害し、2,786人を負傷させた。瓦礫の下から回収された遺体は781体。

*イード・アル・アドハにイスラエル軍の攻撃、少なくとも12人が死亡：

・ガザ市では少なくとも10人が死亡：パレスチナ赤三日月社によると、27日夜、ガザ市内の住宅へのイスラエル軍の攻撃で、子ども5人を含む少なくとも10人が死亡、20人以上が負傷した。報道記者が現場で撮影した映像には、住民が瓦礫の下から遺体を引き上げる様子、血だらけの子どもが救急車に運び込まれる様子、炎と煙の中でパニックに陥った人々の様子が映っている。

*イスラエル、ガザ回廊北部への攻撃でハマス指導者2人を殺害したと発表：イスラエル軍は27日、ガザ回廊北部への空爆で、ハマスのガザ市旅団の副司令官イッズ・アルディン・ビクとザイトゥーン大隊司令官イマド・アスリムが死亡したと発表した。この空爆の前日、イスラエル軍はリマルでモハンメド・オデを殺害した。オデの死亡は27日にハマスによって確認された。ハマスは、26日の空爆でオデの妻と2人の息子も死亡したと声明の中で述べた。

*国連、紛争地域における性的暴力の加害者リストにイスラエルを追加：国連は、紛争地域における性的暴力加害者リストにイスラエルを追加した。これに対し、イスラエルのダニー・ダノン国連大使は28日、これを「血の中傷」と非難す

¹ アブラハムが息子のイシュマエルをアッラーへの犠牲に捧げようとした記念日。

る文を SNS に投稿した。イスラエル・メディアによれば、イスラエル刑務所は、他のイスラエルの機関とならんで国連の監視対象リストに加えられた。これは、ガザ回廊、西岸地区、イスラエルの刑務所において、逮捕されたパレスチナ人が尋問、拷問、性的虐待を受けていることを記録したパレスチナ人や国際社会団体からの報告が多く相次いで出たことを受けての措置である。

***イスラエル、イード・アル・アドハー（犠牲祭）の儀式用の動物のガザへの搬入を阻止：**イスラエル政府情報局は28日、イード・アル・アドハーを前にして、推定1万7000頭の子牛と2万4000頭の羊のガザ搬入を阻止したと発表した。このため、住民は祝祭日の重要な儀式ができなくなった。

***米国、フランチェスカ・アルバネーゼを制裁リストに戻す：**ロイター通信によると、米国は27日、国連特別報告者のフランチェスカ・アルバネーゼをSDNリスト²に再登録し、財務省外国資産管理局による制裁を再び適用した。アルバネーゼの家族が彼女に対する制裁に反対して起こした訴訟では、連邦地方裁判所は家族の主張を認める判決を下していたのに、国家は再び彼女を制裁し、米国の自分の銀行口座にアクセスできず、米国在住の娘や親族に会うための渡航もできない。彼女はガザ・ジェノサイドの犯罪者イスラエルを批判したために、トランプ政権から制裁された。

***トランプ政権の「平和評議会」、ガザに初登場：**イスラエル・メディアのカン・ニュースによると、トランプ政権主導の「平和評議会」の代表団が27日、ガザ回廊に入る要請書をイスラエル国防軍に提出した。ガザ和平を口実に成立した「平和評議会」がガザ回廊に入るのは、これが初めてである。

***グローバル・スムード船団の参加者がリビアで拘束されたと、主催者が発表：**リビア港民軍司令官ハリファ・ハフタルに忠誠を誓う勢力が、リビア中部シルト州でグローバル・スムード船団のメンバー10人を拘束したと、主催者が27日に発表した。発表によると、ポーランド、米国、アルゼンチン、ウルグアイ、ポルトガル、チュニジア、イタリアの国籍を持つ参加者たちが、ガザへの安全な通行を交渉するためにリビアの停戦安全地帯に入ったところを、拘束されたとする。ハフタル將軍率いるリビア国民軍は2017年以来、リビア東部を事実上支配している。

***ニュージーランド人男性、イスラエル拘留中の虐待を証言：**ニュージーランド国民で、グローバル・スムード船団の参加者であるハホナ・オームズビーは、ニュージーランド・メディアの『スタッフ』に対し、拘留中にイスラエル兵によって残酷に扱われたことを語った。彼を拷問した主たる責任者は「俺はクレージー野郎だ。ここでお前と一緒にいる間はじっくり痛めつけてやる」と彼を脅した。そして脅しどおり、何度も殴られ、意識を失うまで殴られ、真っ裸にして検査だと言って頭を壁の押し付けられ、性器にスタンガンを当てられたなどの、恐ろしい体験を語った。

米国ニュース

***トランプ政権、200億ドル以上の関税を還付：**米国税関・国境警備局の裁判所に提出した書類によると、トランプ政権は今までのところ輸入業者に対して206億ドル以上の関税を還付したが、総額約850億ドルの還付申請が受け付けられて処理を待っている。これは、2月に最高裁判所が、政府の国際緊急経済権限法を援用した国別関税の徴収は大統領権限を越えていると判決したための措置である。ハワード・ルトニック商務長官の息子のブランドン・ルトニックは、ルトニックの会社カンター・フィッツジェラルド社のためのこうした還付金の権利を買い取ったので、還付金を受け取る立場にある。

***司法省、E・ジーン・キャロルに対する偽証罪容疑の刑事捜査を開始：**CNNが27日に報じたところによると、司法省は、トランプ大統領を性的暴行と名誉棄損で訴えてそれぞれ500万ドルと8330万ドルの民事賠償判決を勝ち取った82歳の作家E・ジーン・キャロルに対する刑事捜査を開始した。彼女がトランプを訴えて民事訴訟で偽証を行ったかどうかを調べる捜査である。

***下院民主党、キューバへの介入を止めるために戦争権限決議案を提出：**下院外交委員会の筆頭委員であるニディア・ベラスケス下院議員（ニューヨーク州民主党）とグレゴリー・ミークス下院議員（ニューヨーク州民主党）は、トランプ政

² 特別指定人物。アメリカ合衆国の財務省が管理する、特定の個人や団体、国を対象にしたリスト。このリストに掲載された者は、アメリカ国内の財産や資産が凍結され、取引が制限される。

権によるキューバへの軍事介入を阻止しようと、戦争権限法を発動する共同決議案を27日に提出した。ジム・マクガバン下院議員（マサチューセッツ州民主党）とホアキン・カストロ（テキサス州民主党）が共同提案者となっている。

***高校生、全米受賞式でCBSのガザ報道を批判：**ワシントンD.C.の高校3年生のサンティアゴ・カンポスは、27日のニュース&ドキュメンタリー・エミー賞でマイク・ウォレス記念奨学金を受賞した。彼はその時のスピーチの中で、1960年代と1970年代にCBSでベトナム戦争を批判的に報道したマイク・ウォレスの功績を、今そのCBSが「汚している」と批判した。「ガザ・ジェノサイドという言葉を使うのをためらったり、（イスラエルや米政府の）あからさまな嘘を前にして沈黙するときは、自問自答してください。これ（報道）は誰のためなのか」と高校生は述べた。

***ユダヤ系デジタル雑誌『ジューイッシュ・インサイダー』は、アダム・ハマウィのボスニアでの医療ボランティア活動をアルカイダ活動と関連させようとしている：**27日の『ジューイッシュ・インサイダー』は、ニュージャージー州民主党予備選候補のアダム・ハマウィが1990年代にボスニアで「博愛国際基金」（Benevolence International Foundation）という団体で活動を行ったが、後にこのイスラム系団体がアルカイダと関係しているという容疑で起訴されたことを書き、彼をアルカイダと結び付けようとした。ハマウィが同団体でボランティア活動をしていた同時期に、ビル・クリントン大統領の特使がスーダンの同団体事務所を訪問し、政府文書によると、同団体の「人道支援活動」を称賛している。当時ハマウィは個人緊急予備役の1人として米軍に所属していた。そのことと、大統領特使の「博愛国際基金」賛美については、『ジューイッシュ・インサイダー』は知っていたはずだが、記事には書かなかった。ハマウィはイラク戦争中、米陸軍の戦場外科医として従軍したり、2024年にはガザ回廊など紛争地域で医療サービスを行うなどの実績を持つし、後に上院議員となったタミー・ダックワースのヘリコプターが撃墜されたときに手術を行ったことでも有名である。ハマウィがリードするニュージャージー州予備選挙は6月2日に行われる。

***トランプ大統領の恩赦を受けた共和党資金調達者エリオット・ブロイディの企業が、連邦刑務所と1億600万ドルの契約：**ブロイディが設立したテキサス州に本社があるAI企業LEOテクノロジーズは、ガーディアン紙によると、先月連邦刑務所局から、AIを用いて刑務所の電話通話を翻訳、書き起こし、監視する1億600万ドルの契約を獲得した。これはLEOにとって連邦政府との初の契約である。ブロイディは共和党資金調達者で、中国とマレーシアの利益のために秘密裡にトランプ政府にロビー活動を行った罪で判決を受ける数日前に、2021年の任期最終日にトランプ大統領から恩赦を受けた。彼はこれまで2度他の犯罪で有罪になった。

***コリー・ブッシュ、全国的進歩団体からの支持を獲得：**ミズーリ州選出の元下院議員コリー・ブッシュは、ミズーリ州第1選挙区で現職のウェズリー・ベルから議席奪還を目指す選挙をしているが、ドロップ・サイトのライアン・グリム記者の27日の報道では、草の根進歩団体MoveOnの支持を獲得した。

***28日夜6時半に、ニューヨーク市ヒルトン・ミッドタウンで、「盗まれたパレスチナの土地」に抗議するデモが予定。**

***2つの世論調査で、民主党のグラハム・プラトナーが共和党のスーザン・コリンズを大差でリード：**ニューハンプシャー大学の世論調査では、プラトナーがスーザン・コリンズ上院議員を51対42でリードし、別の調査でも48対41でリードしている。元ニューヨーク州知事の民衆党のアンドリュー・クオモと関係がある親イスラエルの過激派エスタブリッシュメントがプラトナー批判を強めている中での世論調査である。プラトナーの支持表明で、ポピュリストの州知事候補のトロイ・ジャクソンが一気にトップに躍り出た。

***サイカット・チャクラバルティはラシダ・トレイブ、イルハン・オマル及びサンライズ・ムーブメントの支持を獲得：**アレクサンドリア・オカシオ・コルテス下院議員の元主席補佐官であったチャクラバルティは、ナンシー・ペロシが支持するコニー・チャンと本選の第2位の座を争っている。カリフォルニア州上院議員のスコット・ウィナーが民主党予備選では最有力候補を見られている。

***労働者階級のアフリカ系ラティーノのダリアリザ・アヴィラ・シェヴァリエの躍進で、ハーレムの民主党陣営がパニック：**ラティーノ・ビクトリー基金とボードPAC（連邦議会ヒスパニック議員連盟と連携）という2つのスーパーPACが現職の民主党議員アドリアーノ・エスパイヤットを応援する広告に100万ドル以上を投入しているが、内部調査では接戦である。シェヴァリエを擁立したジャスティス・デモクラッツは、ストーリーミングやデジタル配信で広告を放映し、選挙

資金を40万ドル近くにまで増額した。予備選は6月23日である。シェヴァリエは最近、テレビ番組「ブレイキング・ポイント」に出演した。

その他の国際ニュース

***東太平洋で米軍の攻撃で2人死亡**：米南方軍は27日、サザン・スピア作戦の一環として、2人に対して「致命的運動エネルギー攻撃」を実施したと発表した。米は2人を「麻薬テロリスト」と言ったが、その根拠を示さなかった。これで米軍は、8か月前に開始した太平洋とカリブ海における船舶攻撃で、192人以上を殺害した。

***キューバ外相、ルビオ国務長官の「嘘」を非難**：キューバのブルーノ・ロドリゲス・バリラ外相は、マルコ・ルビオ米国務長官がキューバが米国の安全保障の脅威になると、米国民、米議会、国際社会に対して継続的に嘘をついていると非難し、28日のフォックス・ニュースに対して、ルビオが「嘘をつき続けている」と述べた。ロドリゲス外相は、キューバが米国の敵対国を支援し、攻撃用ドローンを手に入れているというトランプ政権の主張に反論し、小さな島国が超大国の脅威になるという「論理はどこからくるのか」と問いを発した。

***ウガンダ、エボラ出血熱流行のために、コンゴ民主共和国との西側国境を閉鎖**：ドロップ・サイトのアフリカ特派員ゴッドフリー・オルキヤの報道によると、ウガンダは27日、コンゴ民主共和国との西側国境を閉鎖し、入国管理当局に、エボラ対策チームや必要不可欠な治安要員など許可された者以外の入国を許可しないように指示した。入国者は厳格な健康診断を受け、21日間の強制的隔離を義務付けられる。ウガンダでは5月25日以降、新たなエボラ出血熱感染者は出ていない。今回の流行で合計7例の感染と1人の死亡者が出た。

***ソマリアで空爆、4人死亡**：ソマリア・ガーディアン紙によると、先週木曜日（5月21日）ソマリア北東部で、身元不明の外国軍による空爆で、妊婦とその3人の娘が死亡した。ソマリアの牧畜民が利用する指定安全地帯への空爆であった。妊婦の夫は生き延びて、現在北東部の港湾都市ボサソで傷の治療を受けている。

***ブラジルのボルソナロ、ヴァンス米副大統領、ルビオ国務長官と会談**：ブラジルの右派大統領候補フラビオ・ボルソナロは、前の日にホワイトハウス執務室でトランプ大統領と会談した後、27日にワシントンでヴァンス副大統領とルビオ国務長官と会談した。組織犯罪対策、レアアース鉱物資源の権利、「表現の自由」、そして父親でトランプ大統領の盟友であるジャイル・ボルソナロ元大統領の健康状態について話し合ったという。

***ボリビア、抗議デモ鎮圧のため軍隊動員**：ロイター通信によると、ボリビアのロドリゴ・パス大統領は27日、非常事態宣言発令に向けたいっそう厳しい措置を講じた。非常事態宣言で、数週間続く抗議デモを鎮圧するために、軍隊を街頭に動員することが可能になる。パス大統領は、行政機関の非常事態権限行使を制限する法を撤廃する昨日可決された新法に署名し、記者団に対し、デモ参加者への武力行使を排除しないと発言した。

***インド、パキスタン国境沿いの建物解体命令**：インドの強硬派内務相アミット・シャーは27日、パキスタンとの国境から15キロ以内の「違法」と見做される建物を解体すると発表した。これは、政府の「不法侵入、麻薬密輸、不法占拠、テロ資金供与、その他国境を越えた犯罪」を取り締まる措置の一環であると声明を出した。

***中国、オランダ海軍艦艇を近隣海域から追い出したと発表**：中国軍は27日、南シナ海のパラセル諸島周辺海域に「不法侵入」したと非難していたオランダ海軍艦艇を撃退したと発表した。中国軍南部戦区司令部の声明によると、オランダ海軍フリゲート艦「デ・ロイテル」は「艦載ヘリコプターを繰り返し発艦」し、「中国領空を侵犯」しようとしたという。中国海軍は口頭警告と「電子妨害」でオランダ艦艇を追い払おうとしたと主張している。

***タイの野党政治家、国王侮辱罪に関して無罪判決**：タイの野党と連携する進歩的政治運動の創設者であるタナトーン・ジュアンルアンキットは2021年にFacebookのライブ配信で、新型コロナウイルス感染症パンデミックへの政府の対応を批判し、マハ・ワチラロンコン国王が所有するバイオテクノロジー企業を政府が不当に厚遇していると非難したことで、不敬罪とサイバー法違反の容疑に問われたが、27日刑事裁判所から無罪判決を受けた。

***ノルウェー、フランスの核の傘へ**：ノルウェーのヨナス・ガール・ストーレ首相は27日、パリでマクロン仏大統領と会談し、フランスの核の傘に加盟するための協議を開始すると発表した。これは、ノルウェーがフランスの「前方核抑止」構想に参加する計画である。「前方核抑止」とは、フランスが欧州のパートナー諸国（ポーランドやリトアニアなど）

を核防衛に関する戦略策定に参加させる構想である。この発表によって、これまで米国と NATO の核防衛に依存してきたノルウェーにとって、方針転換を意味する。

***EU 閣僚、キエフ脅迫に関してロシア外交官を召喚：**ベルギーとフランスは27日、ロシア大使を召喚し、キエフ攻撃を示唆する「容認できない」脅迫と、外国外交官にキエフ市内からの退去を命じた警告に対して、怒りを表明した。前日の26日には、ドイツ、オランダ、ノルウェー、そしてEUが同じことを行った。

- ・これとは別に、ゼレンスキー大統領は27日、ロシアの攻撃を予測して、米国に支援を要請した。彼はトランプ大統領に書簡を送り、パトリオット・ミサイルと迎撃ミサイルの追加購入を求めた。これは米議会で審議された。

- ・英国の主要情報機関GCHQによると、2022年のウクライナ戦争開始以降、約50万人のロシア兵が死亡したとされている。これはGCHQのアン・キースト・バトラー長官が言及した数字で、彼はまたロシアが重要インフラを標的にし、英国や他のNATO加盟国に対するスパイ活動を画策していると非難した。

- ・ゼレンスキー大統領は28日、スウェーデンを訪問し、ウルフ・クリステルソン首相と二国間防衛協力を深める協議をした。彼は、両国が新たな大規模防衛パッケージを用意しており、スウェーデン製グリペン戦闘機のウクライナ供給に関する合意にむけて努力していると述べた。

- ・ロシア国防省はウクライナ北東部ハリコフ州のフラニウ村と南東部ザポリージャ州のヴォズドヴィジフカ村を制圧したと主張し、ウクライナはそれを否定した。

***ガーナ、南アフリカの暴力から逃れてきた移民を歓迎：**アル・ジャジーラによると、南アフリカで起きている激しい反移民デモの後、ガーナ国民を乗せた飛行機が27日にガーナに到着した。ガーナは南アフリカ政府と協力して、送還予定の自国民800人のリストを作成した。

***トランプ政権、ベネズエラ暫定大統領に関する捜査を中止するように検察に密かに指示：**トランプ政権は、マイアミの連邦検察に対し、ベネズエラのデルシー・ロドリゲス暫定大統領に対する刑事捜査を中止するように指示した。ロドリゲスは長年麻薬取り締まり局 (DEA) の捜査対象で、麻薬密売、金の密輸、資金洗浄などの容疑で10件近くの連邦捜査で名前が上がっていたが、米国の司法制度を混乱させないために、捜査を中止させた。AP通信が27日に報じたところによると、ニコラス・マドゥロ大統領の拉致の後、ベネズエラの安定化と米国からの投資誘致に向けた取り組みが進行している。

***イラクの首相、武装勢力に武装解除と国家機関への参加を呼びかけ：**イラクの新首相アリ・アル・ザイディは27日、すべての武装勢力に対し、「国家とその公的機関の傘下で活動する」よう呼びかけた。これは、米国がイラン支援武装勢力の武装解除をイラク政府に圧力をかけたことを受けての動きである。この呼びかけは、影響力があるシーア派聖職者ムクタダ・アッサドル師が、自分が率いる武装組織「サラヤ・アッサラム」がイラク国家に完全統合されると発表したことを受けてのことである。

